

# 2022夏！ 体験ボランティアinみなと 概要

## 1. 目的

夏休み期間中に、普段からボランティア活動に関心がありながらこれまで参加するきっかけのなかった小学生以上の区民などを対象に、ボランティア体験メニューを提供します。参加者が地域や社会におけるさまざまな課題に気づき、ボランティア活動を通して地域社会とのつながりを持つきっかけとすることを目的としています。

2. 主催 社会福祉法人 港区社会福祉協議会

## 3. 内容

- (1)体験期間 7月25日(月)～8月31日(水)
- (2)申込み受付期間 7月10日(日)～7月22日(金)(土日祝日を除く)
- (3)対象 小学生以上(活動メニューによって対象年齢は異なります)
- (4)申込み条件 説明会に、ボランティア活動体験をする本人が参加すること  
※リモートメニューについては説明会参加不要
- (5)説明会 ①7月10日(日)午前10時～11時30分  
②7月10日(日)午後 2時～ 3時30分  
③7月14日(木)午後 5時30分～7時  
④7月19日(火)午後 5時30分～7時
- 会場:(1)麻布区民協働スペース(六本木5-16-46)  
(2)オンラインツール(Zoom)  
定員:(1)(2)それぞれ30名(要予約・申込順)
- (6)体験内容 施設(高齢者・障害者・児童等)や、ボランティア団体、自宅等でのボランティア体験活動

4. その他 新型コロナウイルス感染症の感染状況により体験先によっては変更・中止となる場合があります。ご了承ください。

5. 問い合わせ先 港区社会福祉協議会 ボランティア・地域活動支援係  
TEL:6230-0284 FAX:6230-0285

# 申し込みから体験までの流れ

- ◇体験期間:7月25日(月)～8月31日(水)
- ◇体験先:高齢者・障害者施設、保育園、ボランティア団体など
- ◇対象:小学生以上(活動メニューによって対象年齢は異なります)
- ★申し込み条件:説明会にボランティア活動体験をする本人が参加すること

この夏の思い出に、ボランティアを体験してみませんか？



## STEP 1 説明会に参加＜申し込み期間：7月4日(月)～説明会前日まで

- ①7月10日(日)午前10時～11時30分 (みなと保育園・あいは一とみなと・プラチナ美容塾)
- ②7月10日(日)午後2時～3時30分 (プラチナ美容塾)
- ③7月14日(木)午後5時30分～7時 (Kids Forest・工房ラピール・工房アミ)
- ④7月19日(火)午後5時30分～7時 (みなと工房・プラチナ美容塾・三田図書館・プラチナ美容塾・麻布子ども中高生プラザ)

※時間厳守・当日途中入退場不可 カッコ内の施設・団体が来て説明してくれます！

◇各回定員会場・オンラインそれぞれ30名・要事前予約：電話・グーグルフォーム (<https://forms.gle/Wmz5QUALUAj7MHka6>)・申込順

会場:麻布地区区民協働スペース(六本木5-16-46)またはオンライン(Zoom)

## STEP 2 体験先を選ぶ

活動メニュー(7月4日から社協HPに掲載予定)の中から体験先を選び、参加申込書に記入してください。※保育園で活動する人は細菌検査を行い、その結果が出る日程を事前に確認してください。

## STEP 3 体験申し込み手続き

7月中の活動は、説明会終了後の7月10日(日)から7月15日(金)まで、8月中の活動は、7月22日(金)までにボランティア・地域活動支援係へ参加者本人が来所し、申し込み手続きをしてください。

また、申し込みの際は、説明会の際に配布した参加申込書、説明会参加証明書と、同意書(18歳未満の人)、ボランティア保険代を必ず持参してください。

※代理人、郵送、電話・FAX等での申し込み手続きはできません。

## 注意事項！！

説明会当日に体験申し込みをする場合は、事前に次の2点を用意のうえ、持参してください。

### <必要なもの>

- 同意書(18歳未満の参加者は、保護者の署名・捺印が必要です。事前に港区社会福祉協議会のホームページからダウンロードするか、問い合わせをしてFAXで受け取ってください。)
- ボランティア保険代 350円～1,400円  
※学校や個人等で既に加入している人は必要ありません。事前に確認してください。

## STEP 4 体験先の決定

体験の申し込みは先着順です。希望の体験先・日時がすでに定員に達している場合は、再度体験先・日時を選んでいただきます。

## STEP 5

# 体験へ！！



## STEP 6

体験が終わったら、1週間以内に所定の用紙に感想文を書いて、下記まで提出してください。

FAX:6230-0285

郵送:〒106-0032港区六本木5-16-45

麻布地区総合支所2F

港区社会福祉協議会

ボランティア・地域活動支援係

# 体験にあたって注意すること

## 体験の選び方

### ○まずは「やってみたい！」という気持ちが大切！

ボランティア活動は、だれかに強制されて行うものではなく、自分から活動してみようという気持ちが大切です。さまざまな分野があるので、自分が楽しく参加できる体験をさがしましょう。

### ○参加しやすい日時・場所を考える

体験先によって受入れ可能な日程や時間は異なります。自分の都合のよい日時に受入れをしているか確認しましょう。また、自宅から通にくい場所でないかも確認しておきましょう。

### ○年齢などの条件を確認する

体験先によって年齢、人数、最低体験日数、事前に準備することなどの条件が異なります。体験したい体験先の条件にあてはまっているか、よく確認しましょう。

※学校の課題で参加する方は…

学校の所定の用紙に体験先からコメントやサインを書いてもらう必要がある方は、8ページ以降のメニュー表の証明書発行が「可」となっている体験を選んでください。

## 保育園での体験希望者へ

保育園で体験する人は、体験日初日に保育園へ以下の書類の提出等が必要な場合があります。

### ①腸内細菌検査結果(赤痢・サルモネラ・チフス・パラチフス・O-157・O-111の計6項目)

各自、病院・検査機関等で上記6項目の腸内細菌検査を行い、その結果を体験日初日に保育園へ提出してください。検査結果が出るまでに2週間以上かかることもあります。体験日前日までに検査結果が手元に届くよう、体験申し込みの前に検査結果が出る日程を確認して、申し込みをしてください。

<参考:港区の受託検査機関>

株式会社中央微生物検査所 申込み・問合せ:03-5472-7551

費用:1500円(郵便局での振込・手数料別途必要)

検査申込み方法は、上記問合せ先に直接お問い合わせください。

### ②胸部レントゲン検査結果

各自、病院等で胸部のレントゲン検査を行い、その結果を体験日初日に保育園へ提出してください。ただし、学校等で年1回健康診断を行っている方で結果に異常が無いことがわかっている場合は、再度検査を行う必要はありません。学校や保護者等に検査結果を確認し、異常が無いことが確認できた人は、体験日初日にその旨を保育園に報告してください。

### ③麻しん予防接種の有無、過去の感染歴

麻しんの予防接種を受けているか、過去にかかったことがあるかを体験日初日に保育園へ報告してください。わからない場合は必ず事前に保護者等に確認してください。

## 事前の準備

### ○体験先の場所を確認する

体験当日に迷うことのないよう、あらかじめ地図やインターネットなどを活用して、体験先の詳細な場所を確認しましょう。

### ○必要な持ち物を用意する

体験先によって必要な持ち物は異なります。8ページ以降に記載している各体験先に必要な持ち物を確認し、早めに用意しましょう。「上ばき」が必要な場合は、かかどが隠れる上ばきを用意してください。転倒の危険があるので、スリッパなどかかとの浮くものはさけましょう。

### ○当日の服や靴を準備する

ショートパンツやキャミソール、股上が浅く座ると背中が見えるズボンなどの露出が多い服や、清潔感がない服はやめましょう。靴はサンダルやヒールの高い靴などはさけ、動きやすい靴をはいていきましょう。

### ○爪は短く切る

爪は短く切りましょう。特に高齢者や子どもと関わる活動などは、爪が伸びていると相手にケガをさせてしまいます。

### ○事前連絡を行う

メニュー欄の事前連絡に電話orメールが記載されている場合は体験前に本人が施設へ連絡をしてください。7月の活動は7月20日以降に、8月の活動は7月27日以降にお願いします。

## 体験が始まったら

★体験当日は体温を測りマスクを着用しましょう。万が一37.5℃以上の熱や体調がすぐれない場合は無理をせず体験先へ欠席の連絡をしてください。

### ○身だしなみを整える

長い髪はまとめ、前髪はじゃまにならぬようにしましょう。アクセサリーや香水もつけないようにしましょう。

### ○貴重品・体験に必要なものは持っていかない

万が一紛失等があった場合、体験先や他の体験者にも迷惑がかかります。

### ○遅刻・欠席する場合は必ず体験先へ連絡

やむを得ず欠席や遅刻をするような場合は、必ず体験先へ連絡をしてください。

(前日までのキャンセルの連絡は、ボランティア・地域活動支援係へ(土日を除く))

### ○コミュニケーションを大切に

受入れ先の職員や利用者、他のボランティアとの関係を大切にしましょう。まずは元気に気持ちのよいあいさつから！

### ○相手の気持ちを考えて

体験先では、相手もボランティアも対等な立場です。相手の意思や考え方を尊重してください。「してあげる」という押し付けになってしまうよう、相手の人が自分でしたいこと、手を貸してほしいことは何かを理解するよう心がけましょう。(ただし職員の指示と違うことを利用者に頼まれた場合は、必ず職員に確認をしてください。)

### ○守秘義務を守りましょう

体験中に知ったプライバシーに関すること(体験先で会った人の名前やその人に関わる情報など)は絶対に他の人に言わないでください。SNS等にも載せないでください。

### ○住所・電話番号は聞かれても答えない

職員以外(例えば入所者や利用者)から住所や電話番号を聞かれた時は、「申し訳ありませんが、お伝えできません。」と言って断ってください。